

基 礎 講 義 科 目

令和3年度(2021年度)シラバス

授業科目名 (科目の英文名)					専攻・コース
経済学 (The Basic Economics)					基礎講義科目
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	2	1. 2	前期	月 7	下田 憲雄 (Norio SHIMODA) E-mail nshimod@oita-u.ac.jp 内線 7683
授業の概要	経済学の基礎をマスターしていない社会人に対して、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎を講義する。				
具体的な到達目標					
目標1	経済学の基礎をマスターする。				
目標2					
目標3					
目標4					
目標5					
目標6					
授業の内容					
1	マクロ経済学分野				
2	マクロ経済学とは				
3	マクロ経済学における需要と供給				
4	有効需要と乗数メカニズム				
5	有効需要と乗数メカニズム				
6	貨幣の機能				
7	マクロ経済政策				
8	マクロ経済政策				
9	ミクロ経済学分野				
10	ミクロ経済学と需要と供給				
11	需要曲線と消費者行動				
12	需要曲線と消費者行動				
13	費用の構造と供給行動				
14	費用の構造と供給行動				
15	市場取引と資源配分				
アクティブ ラーニング					その他の 授業の工夫
時間外学 修の内容 と時間 の 目 安	準備学修	テキストの予習			
	事後学修	練習問題などによる理解の確認			
教科書	『入門 経済学』伊藤元重 日本評論社				
参考書	講義中の議論とレポートを総合的に評価する。				
成績評価 及び 評価 割合 の 方 法	評価方法				割合
	レポート				100%
注意事項	経済学のバックボーンがなく、昼間に開講されている経済学Ⅰ・Ⅱを履修出来ない社会人学生を中心に講義を行う。				
備考					
リンク					
	URL				
担当教員の実務経験の有無					
教員の実務経験					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無					
教員以外の指導に関わる実務経験者					
実務経験を いかした教育内容					

令和3年度(2021年度)シラバス

授業科目名 (科目の英文名)					専攻・コース
経営学 (The Basic business Management)					基礎講義科目
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	2	1. 2	前期	火7	藤原 直樹 (Naoki FUJIWARA) E-mail nfujwara@oita-u.ac.jp 内線 7675
授業の概要	大学院で経営学関連科目を履修する際に最低限必要となる経営学の基礎的知識を身につけることをねらいとしています。				
具体的な到達目標					
目標1	経営学関連の科目において、講義内容を理解し、ディスカッションに加わることができるように目指します。				
目標2					
目標3					
目標4					
目標5					
目標6					
授業の内容					
1	マニュファクチュアの重要性				
2	分業とは何か				
3	分業とは何か				
4	分業とは何か				
5	協業の展開				
6	協業の展開				
7	協業の展開				
8	協業の展開				
9	補論.経済学 (マルクス経済学) の基本概念				
10	補論.経済学 (マルクス経済学) の基本概念				
11	管理という概念				
12	管理という概念				
13	管理という概念				
14	総括				
15	総括				
アクティブラーニング					その他の授業の工夫 体系的な講義を展開します。
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	テキストの精読 (30 h)			
	事後学修	テキストの確認 (15 h)			
教科書	アダム・スミス『国富論』第1巻、中公文庫 カール・マルクス『新版 資本論 3』(第一巻 第三分冊)、新日本出版社				
参考書	適宜、講義中に示します。				
成績評価の方法及び評価割合	評価方法				割合
	授業中の議論の内容				50%
報告・レポートの内容				50%	
注意事項	この講義は学部等で経営学関係科目を履修したことがない大学院生を対象にしています。				
備考					
リンク					
	URL				
担当教員の実務経験の有無					
教員の実務経験					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無					
教員以外の指導に関わる実務経験者					
実務経験をいかした教育内容					